

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成26年10月14日
【四半期会計期間】	第99期第2四半期（自 平成26年6月1日 至 平成26年8月31日）
【会社名】	株式会社大和
【英訳名】	Daiwa Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 宮 二郎
【本店の所在の場所】	石川県金沢市香林坊一丁目1番1号
【電話番号】	(076) 220-1100
【事務連絡者氏名】	経営戦略本部 財務統括室長 安田 和彦
【最寄りの連絡場所】	石川県金沢市香林坊一丁目1番1号
【電話番号】	(076) 220-1100
【事務連絡者氏名】	経営戦略本部 財務統括室長 安田 和彦
【縦覧に供する場所】	株式会社大和富山店 (富山県富山市総曲輪三丁目8番6号) 株式会社大和東京駐在所 (東京都江東区木場二丁目18番11号 大丸コアビル6階) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第98期 第2四半期連結 累計期間	第99期 第2四半期連結 累計期間	第98期
会計期間	自平成25年 3月1日 至平成25年 8月31日	自平成26年 3月1日 至平成26年 8月31日	自平成25年 3月1日 至平成26年 2月28日
売上高 (千円)	24,501,814	23,956,181	50,471,007
経常利益 (千円)	178,214	203,000	491,709
四半期(当期)純利益 (千円)	136,337	1,182,421	229,003
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	374,033	1,290,198	413,462
純資産額 (千円)	5,968,338	7,296,917	6,007,145
総資産額 (千円)	42,615,674	41,344,370	41,112,788
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	4.85	42.09	8.15
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	14.0	17.6	14.6
営業活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	732,737	701,850	837,004
投資活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	16,107	72,839	425,537
財務活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	797,841	861,817	1,960,940
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	3,019,520	2,282,989	2,370,117

回次	第98期 第2四半期連結 会計期間	第99期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成25年 6月1日 至平成25年 8月31日	自平成26年 6月1日 至平成26年 8月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	1.59	38.47

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していない。
2. 売上高には、消費税等は含まれていない。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していない。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社企業グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はない。

また、主要な関係会社における異動もない。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはない。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はない。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はない。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社企業グループ（当社及び連結子会社）が判断したものである。

（1）業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな景気回復傾向にあったが、4月以降は消費増税に伴う影響が見られるなど、先行き不透明な状況となった。

百貨店業界においては、消費税率引き上げ前の一時的な盛り上がりはあったものの、その後の売上高は大都市圏では比較的堅調に推移したが、地方は回復ペースが鈍く厳しい推移となった。

この期間当社は、消費税増税前の3月に化粧品や春物衣料等を中心に取引先との各種協働企画を実施した他、春のギフト需要の掘り起こしを強化するとともに、呉服・宝飾の展示会を積極的に開催するなど、幅広い販売促進策を推進し、増税前の駆け込み需要取り込みを徹底強化してきた。増税後の4月以降は、「母の日ギフト」「クールビズ」など季節・歳時記を捉えた企画の早期提案と品揃えの充実や、お中元の早期受注策の強化とWeb承りの利便性向上を図るとともに、全従業員参画による「マイゲスト運動」を推進し、集客力の向上と需要喚起に努めてきた。

併せて、固定客基盤の拡大に向け、ダイワプライマリーカード会員の獲得にも全社挙げて取り組んできた。

売上高については、消費税率引き上げ前の駆け込み需要により、ラグジュアリーブランドなど高額品や健康志向商品等を中心に3月が大幅に増加し、4月以降は月を追ってその反動減は和らいできたが、不採算物産催事の休止や期間短縮に加え、天候不順の影響もあり若干の減収となった。

一方、利益面においては、利益効率視点から店舗営業の運営面での改善改革を進めるとともに、経費面においても、光熱費値上げ等の増加要因のある中、お中元商戦の運営をはじめとして各種業務のあり方を見直すなど構造的なコスト削減にも機動的に取り組み、営業利益・経常利益とも増益となった。また、平成26年6月26日に開示した通り再開発事業に伴う特別利益を計上した。

その他事業についても、経営効率向上と収益力強化に取り組んできた。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は239億5千6百万円（前年同四半期比2.2%減）、営業利益2億7千4百万円（前年同四半期比23.1%増）、経常利益2億3百万円（前年同四半期比13.9%増）、四半期純利益は11億8千2百万円（前年同四半期比767.3%増）となった。

㈱大和カーネーションサークルを含む百貨店業は販売促進策、固定客の拡大や更なる販売管理費の圧縮に取り組んできた。結果、百貨店業の業績は売上高227億5千1百万円（前年同四半期比1.8%減）、経常利益2億3百万円（前年同四半期比14.7%増）となった。

その他事業において、それぞれの事業分野で経営効率向上と収益力強化に取り組んできた結果、売上高15億9千2百万円（前年同四半期比8.9%減）となった。また、経常損失は1百万円（前年同四半期は0百万円の経常損失）となった。

（2）財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は413億4千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億3千1百万円増加した。これは主として、再開発事業における権利変換に伴い特別利益を計上したことで、有形固定資産が増加したことによるものである。

負債については、340億4千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億5千8百万円減少した。これは主として、約定に基づく借入金の返済によるものである。

純資産については、72億9千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億8千9百万円増加した。これは四半期純利益の計上及び、保有する上場株式の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の増加によるものである。

（3）キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、固定資産権利変換益13億2百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益13億2千7百万円、減価償却費6億2百万円、たな卸資産の減少2億3千5百万円等により、7億1百万円（前年同四半期連結累計期間は7億3千2百万円）の増加となった。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、有形固定資産の取得による支出4千万円等があったものの、有形固定資産の売却による収入4千1百万円等により7千2百万円（前年同四半期連結累計期間は1千6百万円の増加）の増加となった。

また、「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、短期借入金の返済による支出4億6千3百万円等により、8億6千1百万円（前年同四半期連結累計期間は7億9千7百万円）の減少となった。

この結果、「現金及び現金同等物の四半期末残高」は、前連結会計年度と比較して、8千7百万円減少し、22億8千2百万円となった。

（4）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社企業グループが対処すべき課題については重要な変更及び新たに生じた課題はない。

（5）研究開発活動

該当事項なし。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年10月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	30,017,000	30,017,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	30,017,000	30,017,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項なし。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項なし。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項なし。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額(百万 円)	資本準備金残 高(百万円)
平成26年6月1日～ 平成26年8月31日	-	30,017	-	3,462	-	1,151

(6) 【大株主の状況】

平成26年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
宮 二郎	石川県金沢市	2,622	8.74
倉敷紡績株式会社	大阪市中央区久太郎町二丁目4-31	1,464	4.88
東京海上日動火災保険株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目2-1	1,427	4.75
浅山 忠彦	静岡県駿河区	1,105	3.68
財団法人大和文化財団	石川県金沢市香林坊一丁目1-1 (株)大和内	1,000	3.33
株式会社北國銀行	石川県金沢市下堤町1番地	961	3.20
株式会社北陸銀行	富山県富山市堤町通り一丁目2-26	905	3.02
清水建設株式会社	東京都中央区京橋二丁目16 1	827	2.76
ダイダン株式会社	大阪市西区江戸堀一丁目9-25	764	2.55
株式会社大市社	石川県金沢市片町二丁目2-5	720	2.40
計	-	11,796	39.30

(注) 上記のほか、自己株式が1,929千株ある。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,929,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式27,474,000	27,474	-
単元未満株式	普通株式 614,000	-	1単元(1,000株) 未満の株式
発行済株式総数	30,017,000	-	-
総株主の議決権	-	27,474	-

【自己株式等】

平成26年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社大和	金沢市香林坊一 丁目1番1号	1,929,000	-	1,929,000	6.43
計	-	1,929,000	-	1,929,000	6.43

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出後、当四半期累計期間における役員の異動はない。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成している。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成26年6月1日から平成26年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年3月1日から平成26年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽有限責任監査法人による四半期レビューを受けている。

なお、従来、当社が監査証明を受けている太陽A S G有限責任監査法人は、平成26年10月1日に名称変更し、太陽有限責任監査法人となった。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,415,558	2,328,431
受取手形及び売掛金	2,054,643	1,967,617
商品及び製品	2,922,192	2,669,764
仕掛品	12,877	30,419
原材料及び貯蔵品	76,886	76,749
繰延税金資産	66,432	66,084
その他	431,524	423,581
貸倒引当金	42,434	38,891
流動資産合計	7,937,682	7,523,758
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	35,883,165	29,918,223
減価償却累計額及び減損損失累計額	23,157,747	18,528,146
建物及び構築物(純額)	12,725,418	11,390,077
機械装置及び運搬具	632,112	635,195
減価償却累計額及び減損損失累計額	577,460	580,181
機械装置及び運搬具(純額)	54,651	55,013
土地	9,392,699	9,350,169
建設仮勘定	-	2,009,167
その他	1,519,641	1,498,813
減価償却累計額及び減損損失累計額	951,752	982,639
その他(純額)	567,889	516,173
有形固定資産合計	22,740,658	23,320,601
無形固定資産		
施設利用権	6,972	1,986
ソフトウェア	127,646	119,024
無形固定資産合計	134,618	121,010
投資その他の資産		
投資有価証券	2,900,233	3,067,072
差入保証金	7,258,621	7,176,476
繰延税金資産	41,892	40,915
その他	99,081	94,535
投資その他の資産合計	10,299,829	10,379,000
固定資産合計	33,175,106	33,820,612
資産合計	41,112,788	41,344,370

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,071,003	3,008,961
短期借入金	10,497,694	10,033,697
1年内返済予定の長期借入金	1,837,306	1,819,043
未払法人税等	45,549	150,209
商品券	5,964,517	5,817,865
預り金	3,714,219	3,494,847
賞与引当金	61,098	64,679
商品券等回収損失引当金	702,903	716,124
ポイント引当金	219,928	245,323
その他	762,307	804,213
流動負債合計	26,876,527	26,154,965
固定負債		
長期借入金	4,695,328	4,358,026
繰延税金負債	963,602	1,021,775
再評価に係る繰延税金負債	362,980	362,980
退職給付引当金	1,646,914	1,630,627
資産除去債務	196,631	198,794
環境対策引当金	10,496	10,496
その他	353,163	309,788
固定負債合計	8,229,116	7,892,488
負債合計	35,105,643	34,047,453
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,462,700	3,462,700
資本剰余金	1,151,981	1,151,981
利益剰余金	586,897	1,769,318
自己株式	589,690	590,116
株主資本合計	4,611,888	5,793,883
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	533,607	641,385
土地再評価差額金	861,648	861,648
その他の包括利益累計額合計	1,395,256	1,503,034
純資産合計	6,007,145	7,296,917
負債純資産合計	41,112,788	41,344,370

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 2 四半期連結累計期間】

(単位 : 千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 3月 1日 至 平成25年 8月31日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 3月 1日 至 平成26年 8月31日)
売上高	24,501,814	23,956,181
売上原価	18,626,042	18,265,202
売上総利益	5,875,772	5,690,979
販売費及び一般管理費	1 5,652,782	1 5,416,552
営業利益	222,990	274,426
営業外収益		
受取利息	561	279
受取配当金	34,791	39,688
長期未回収商品券	264,186	259,597
その他	124,328	60,011
営業外収益合計	423,867	359,575
営業外費用		
支払利息	151,215	133,976
商品券等回収損失引当金繰入額	223,219	221,214
その他	94,208	75,809
営業外費用合計	468,642	431,001
経常利益	178,214	203,000
特別利益		
固定資産権利変換益	-	1,302,361
投資有価証券売却益	40,142	-
特別利益合計	40,142	1,302,361
特別損失		
固定資産売却損	-	149,322
固定資産除却損	27,230	15,085
減損損失	-	13,104
特別損失合計	27,230	177,511
税金等調整前四半期純利益	191,126	1,327,849
法人税、住民税及び事業税	32,174	144,991
法人税等調整額	22,614	436
法人税等合計	54,788	145,428
少数株主損益調整前四半期純利益	136,337	1,182,421
四半期純利益	136,337	1,182,421

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	136,337	1,182,421
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	237,695	107,777
その他の包括利益合計	237,695	107,777
四半期包括利益	374,033	1,290,198
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	374,033	1,290,198

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	191,126	1,327,849
減価償却費	615,685	602,050
退職給付引当金の増減額(は減少)	49,057	16,287
引当金の増減額(は減少)	17,509	38,059
固定資産権利変換益	-	1,302,361
固定資産除却損	27,230	15,085
有形固定資産売却損益(は益)	-	149,322
投資有価証券売却損益(は益)	40,142	-
受取利息及び受取配当金	35,352	39,967
支払利息	151,215	133,976
減損損失	-	13,104
売上債権の増減額(は増加)	163,555	87,025
たな卸資産の増減額(は増加)	255,938	235,023
仕入債務の増減額(は減少)	100,802	62,042
未払消費税等の増減額(は減少)	20,970	33,781
預り金の増減額(は減少)	503,003	366,024
その他の資産の増減額(は増加)	97,790	10,629
その他の負債の増減額(は減少)	14,419	22,942
小計	896,357	836,282
利息及び配当金の受取額	35,352	39,967
利息の支払額	152,772	131,142
法人税等の支払額	46,200	43,257
営業活動によるキャッシュ・フロー	732,737	701,850
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	54,080	64,082
定期預金の払戻による収入	59,079	64,081
有形固定資産の取得による支出	173,012	40,933
有形固定資産の売却による収入	68,185	41,092
無形固定資産の取得による支出	3,380	13,630
投資有価証券の取得による支出	5,000	-
投資有価証券の売却による収入	41,366	-
貸付金の回収による収入	213	-
差入保証金の回収による収入	81,952	76,346
その他の支出	3,411	2,988
その他の収入	4,193	12,952
投資活動によるキャッシュ・フロー	16,107	72,839

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	555,476	463,997
長期借入れによる収入	118,800	-
長期借入金の返済による支出	343,394	355,565
リース債務の返済による支出	17,649	41,829
自己株式の取得による支出	121	426
財務活動によるキャッシュ・フロー	797,841	861,817
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	48,995	87,128
現金及び現金同等物の期首残高	3,068,515	2,370,117
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 3,019,520	1 2,282,989

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項なし。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項なし。

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項なし。

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりである。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
給料手当	1,231,661千円	1,112,380千円
ポイント引当金繰入額	27,781	368,614
賞与引当金繰入額	9,684	6,688
貸倒引当金繰入額	4,382	2,790
退職給付費用	75,060	23,109
賃借料	683,795	683,959

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と当第2四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
現金及び預金勘定	3,086,600千円	2,328,431千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	67,080	45,442
現金及び現金同等物	3,019,520	2,282,989

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項なし。

(2) 基準日が当連結会計年度の開始から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生

日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項なし。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項なし。

(2) 基準日が当連結会計年度の開始から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生

日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項なし。

(3) 株主資本の金額の著しい変動

当第2四半期連結累計期間において、特別利益の計上に伴い、1,182,421千円の四半期純利益を計上したほか、自己株式の取得426千円により、株主資本は前連結会計年度末に比べ1,181,995千円増加し、5,793,883千円となった。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	百貨店業				
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	23,164,504	1,337,309	24,501,814	-	24,501,814
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,729	411,271	421,000	(421,000)	-
計	23,174,234	1,748,581	24,922,815	(421,000)	24,501,814
セグメント利益又は損失()	177,285	390	176,895	1,318	178,214

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、印刷業、出版業、専門店管理運営、ホテル業及び飲食業を行っている。

(注)2. セグメント利益又は損失()の調整額1,318千円は、セグメント間取引消去である。

(注)3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項なし。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	百貨店業				
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	22,751,083	1,205,097	23,956,181	-	23,956,181
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	669	387,563	388,233	(388,233)	-
計	22,751,752	1,592,661	24,344,414	(388,233)	23,956,181
セグメント利益又は損失()	203,293	1,348	201,944	1,055	203,000

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、印刷業、出版業、飲食業、専門店管理運営、及びホテル業を行っている。

(注)2. セグメント利益又は損失()の調整額1,055千円は、セグメント間取引消去である。

(注)3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、「百貨店業」で固定資産減損損失を13,104千円計上した。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりである。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額	4円85銭	42円09銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	136,337	1,182,421
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	136,337	1,182,421
普通株式の期中平均株式数(株)	28,097,809	28,089,652

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していない。

(重要な後発事象)

該当事項なし。

2【その他】

該当事項なし。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項なし。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年10月14日

株式会社大和

取締役会 御中

太陽有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 泉 淳 一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大和田 淳 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社大和の平成26年3月1日から平成27年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成26年6月1日から平成26年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年3月1日から平成26年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社大和及び連結子会社の平成26年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。